

## ■■■ 2009年度MUKWANO 事業報告 ■■■

(2009年7月1日～2010年6月30日)

### 1. 生活支援と心のケア事業

ホーム入居の遺児の数は設立時の31人から40人となりました。今まで安全な住居がなかった遺児の衣食住のサポート並びに、遺児の教育の向上へ繋がりました。

前年度に引き続き、毎週土曜日には、ホームのリーダーであるセンキマ氏の指導の下、子どもたちは歌や寸劇を通して交流を深めています。親だけではなく、祖父母や近い親せきの死を真近で見たという経験を持つ子どもは、さまざまな心の傷を抱えています。外にその傷を吐き出せず、自分1人で抱え込んで生きてきた子どもも多いため、このレクリエーションの時間を通して、遺児の心の悲しみ、苦しさを、吐き出すことを目標にしています。

### 2. 基礎教育と職業訓練事業について

スクールに通ってくる子どもは現在約180名（ホームに住む子どもを含む）です。2009年9月の3学期から、数人の先生の入替えを行いました。資格を有する経験豊富な先生が7人になり、先生の総人数が合計9人となりました。ウガンダ国内、資格を有しない教師も多いのですが、MUKWANOでは教員の能力と初等教育を向上、充実させるために有資格の教師を重要視しております。前年度に引き続き2009年2月の1学期からは、P1～P7まで（小学校1年生～7年生）、通常のウガンダの公立小学校と同じ制度をとっています。現状、教室の数が足りていないため、小学校1年生、2年生に関しては、青空教室を利用しています。

指導者のもと毎週行っている農作業では、昨年引き続きキャッサバ、とうもろこしを栽培しています。今年度よりパイナップルやバナナの栽培にも挑戦し、農地も昨年度より拡大しました。雨が比較的少ない大地で、どのように畑を耕せば作物が採れるのか、子どもと指導者である先生が自ら体験することで、現地での自給自足を促しています。しかし、この農作物の出来は全て天候に左右される為、農作物がうまく育つ事もあれば、失敗をすることもあります。天候により完全な自給自足は困難なため、MUKWANOからの食料支援も引き続き行っています。

基礎教育の一環として、子どもたちの休み時間に利用できるよう、遊具の購入を積極的に行っています。各種ボール、グローブ、なわとび、あやとり等、現地で購入したり、調達できないものは日本から持参しています。しかし現在の180名という人数にはまだまだ足りない在庫です。徐々に増やしていきたいと思っていますが、今は少ない遊具でも譲り合って使うこと、交替で利用することを学んでいるところです。

2009年10月より青年海外協力隊のAyaさんが現地でお手伝いをして下さっています。主にビーズアクセサリーを使った手芸指導や低学年の指導にあたっています。

### 3. HIV/エイズ予防と保健衛生事業について

ホーム/スクールには雨季に降った雨を貯めておける大型水タンクが3つありました。この水タンクの水は、調理用、飲料用水として利用していますが、身体を洗ったり、衣類を洗う

分の水は貯めることができませんでした。近隣できれいな水を掘る井戸の掘削を計画していましたが、ここ数年の地元の調査では、この辺りの地下は鉄分、塩分が多く井戸には適さないという結果が戻ってきています。現在のところ水問題への根本的な解決には至っておりませんが、少しでもたくさんの水を利用できるように、2010年5月より建設中のスタッフ棟の屋根を利用して、雨水を貯蓄するタンク3台を更に設置することにしました。

ホームに住む子ども40人を中心に、歯磨き、手洗い、部屋や敷地内の掃除、お風呂の徹底など、基本的な保健教育は前年度より引き続き行っています。

#### 4. HIV/エイズ分野におけるリーダー育成事業について

ホーム/スクールはRakai県の地方の丘の上にあるため、ほとんどの先生達はここに住み込みで働いています。これまでスクールの先生達は、8畳ほどの部屋を3名で共有するなど、あまり良い環境とは言えませんでした。子どもと最も近い立場にいる教師の環境を整える事も非常に大切だと考え、今年度はスタッフ棟建設が始まりました。設立時より、子どもたちの衣食住について第一に取り組んできましたが、教師自身のインセンティブをアップし、プライバシーを守ることも大切なことであると考えました。現在、教師1人に1部屋が渡るように、現在は5部屋あるスタッフ棟の建設を行っています(この屋根を利用して雨水を貯蓄できるタンクを作っています)。MUKWANOではこれからも初等教育の向上と充実を図り、子どもたちの良きお手本となるリーダーの育成に励んでいきたいと思っています。

#### 5. HIV/エイズ分野における普及啓発事業について

日本国内において、不定期に勉強会を開き、一般学生や社会人を対象に、アフリカについて、エイズについて関心を持ってもらう機会を作っています。2009年12月1日の世界エイズデーでは、MUKWANOがスタートした時から温かく応援してくださっている福岡市にあるごはん屋「今ここ」さんで、一人、一品&一本を持ち寄ったポットラックパーティーが行われ、100名近いゲストが集まりました。ホーム/スクールや子どもたちの写真を展示し、MUKWANO副代表の青野文子がスピーチをしました。またこの日の会費を「今ここ」さんよりご寄付いただきました。ウガンダの子どもたちが作るストラップも販売し、大勢の方に購入いただきました。

#### 6. 広報活動と募金活動について

2009年度は、MUKWANO サポートメンバーが中心となり、2009年9月13日、2009年11月8日、2010年3月14日、2010年6月13日、計4回、チャリティーフリーマーケットを開催し、その収益を寄付いただきました。フリーマーケットの商品を出店するにあたっては、各人自分のものを持ち寄るだけでは足りないので、友だちや同僚に(そのまたご家族や知り合いの方々も)フリーマーケットの主旨を伝え、商品ご提供のお声がけをさせていただきました。フリーマーケットでは、ウガンダの実状だけではなく、エイズの撲滅に関しても訴えました。

また、MUKWANO サポートメンバーのシンガーソングライター・永谷晃子さん他より、チャリティーライブの収益をご寄付いただきました。そのほかにも、店頭・会社・病院などに募金箱を置いて頂くなど、皆様方のお気持ちに深く感謝を致します。

### ■2009年度の寄付金と支出合計

2009年7月1日から 2010年6月30日まで、会員費 485,000 円、一般寄付 3,368,183円、合計 3,853,183円をいただきました。また支出では、事業費 2,887,604円{内訳;(1)生活支援と心のケア事業費 794,703円、(2)基礎教育と職業訓練事業 803,261円、(3)予防/保健衛生教育事業 401,275円、(4)リーダーの育成事業 811,558円、(5)普及啓発事業 74,007円、(6)調査研究事業 2,800円}。管理費計 571,191円となり、支出合計は 3,458,795円でした。



スタッフルーム建設中



給食支給に並ぶ子どもたち



クラフト、ストラップ作り



授業風景